

議会だより

今月号の表紙

【善徳天満宮に虹を添えて】

撮影 古井孝司

おもな内容

- 令和5年6月定例会議 2
- 一般質問 3~5
- 各種表彰 5
- 常任委員会報告 6~7
- 本会議、特別委員会、人事案件 . . . 7
- 議会のおごき・編集後記 8

令和5年6月定例会議に提出された報告・議案等の議決結果は、次のとおりです。

番号	件 名	本会議 結果	常任委員会	
			付託	結果
報告 4	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について） 国道で発生した公用車との接触事故、市道で発生した倒木による車両破損、学校敷地内で発生した車両への落雪事故、市道で発生したグレーチング設置不備による車両破損について、損害賠償及び和解について報告。	—	—	—
報告 5	専決処分の報告について（三好市税条例の一部を改正する条例について） 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い本条例を改正するもので、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行による賦課徴収の方法について所要の改正、軽自動車税の種別割のグリーン化特例について期限を延長する等の改正を報告。	—	—	—
報告 6	専決処分の報告について（三好市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について） 地方税法施行令の一部を改正する政令に伴い本条例を改正するもので、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額と、2割及び5割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定における被保険者の数に乘ずべき金額を引き上げる等の改正を報告。	—	—	—
報告 7	繰越明許費繰越計算書の報告について（2022（令和4）年度三好市一般会計繰越明許費繰越計算書） 2022（令和4）年度一般会計の繰越明許費について、令和5年度に繰り越したため、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告。	—	—	—
報告 8	繰越明許費繰越計算書の報告について（2022（令和4）年度三好市井内財産区特別会計繰越明許費繰越計算書） 2022（令和4）年度井内財産区特別会計の繰越明許費について、令和5年度に繰り越したため、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告。	—	—	—
報告 9	予算繰越計算書の報告について（2022（令和4）年度三好市水道事業会計予算繰越計算書） 2022（令和4）年度水道事業会計の繰越事業について、令和5年度に繰り越したため、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告。	—	—	—
報告 10	専決処分の報告について（2022（令和4）年度三好市一般会計補正予算（第13号）） 年度末精算による減額及び基金積立金等を計上することについて報告。	—	—	—
報告 11	専決処分の報告について（2022（令和4）年度三好市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）） 年度末精算による減額について報告。	—	—	—
報告 12	専決処分の報告について（2022（令和4）年度三好市浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）） 年度末精算による減額について報告。	—	—	—
同意 2	三好市教育委員会委員の任命について（先議） 三好市教育委員会委員の任命について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求める。	同意	—	—
議案 40	令和4年度 ケーブルテレビ設備移転工事（山城サブセンター）の変更請負契約について（先議） 令和4年9月22日に議決を得た契約額に変更が生じたため、変更請負契約について議決を求める。	可決	—	—
議案 41	令和4年度 井川運動公園（仮称）整備工事の変更請負契約について（先議） 令和4年9月1日に議決を得た契約額に変更が生じたため、変更請負契約について議決を求める。	可決	—	—
議案 42	令和5年度三好市一般会計補正予算（第1号）（先議） エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対する支援として、三好市生活応援クーポン券事業及び低所得世帯への支援給付金の支給、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給に係る予算を計上する。	可決	—	—
議案 43	三好市井川森林総合利用施設条例の一部を改正する条例について 電気料金の上昇に伴い、井川スキー場腕山のリフト、宿泊施設、駐車場、ちびっ子グレンデの利用料金について、上限の金額を改める。	可決	産業 建設	可決
議案 44	三好市東祖谷一般廃棄物処理場条例の廃止について 三好市東祖谷一般廃棄物処理場を用途廃止するため、本条例を廃止する。	可決	文教 厚生	可決
議案 45	令和5年度三好市一般会計補正予算（第2号）	可決	3 常任	可決

※専決処分の報告については、地方自治法第180条第1項の規定に基づく専決処分事項の指定により専決処分したため、同条第2項の規定により報告するもの。

追加議案

報告 13	令和4年度 道整備交付金事業 市道樫尾阿佐線上部工製作工事の変更請負契約の締結について 令和4年9月22日に議決を得た工事請負契約について、契約金額を増額し、変更後請負額について報告。	—		
議案 46	令和5年度三好市一般会計補正予算（第3号）	可決		

Q 市が介護・看護職員の養成を行ってはどうか。

A 介護人材実態調査をし、みよし広域で考える。

Q 特別障害者手当は月2万7980円であるが、もっと広報をしてほしい。

A 今後もケアマネージャーを対象の研修会で周知を図る。

Q 三好市では看護介護職の人材が不足している。この4月、ハロワーク三好で看護師求人39人に対し求職者12人しかおらず、介護士の求人43人に対し求職者25人しかいない。対策は事業所任せになつている。介護保険施設では空きベッドを作ったり、外国人技能実習生に頼ったりしている。介護保険事業計画での必要人員は何人か。市で看護介護職養成の特別奨学制度を作れるか。

A みよし広域管内の介護保険施設等の定員に対する各職種の全体では535人必要で、そのうち看護職77人、介護職335人である。4月末の空床は、介護老人保健施設13床、介護老人福祉施設本入所17床でシヨート24床、介護医療院1床、認知症グループホーム15床となっている。現在、介護人材実態調査を行っており、今後、介護人材育成と人材確保の検討を行う。市独自の看護介護職の養成制度は考えていない。



美浪盛晴
(日本共産党)

Q 東祖谷診療所前の調剤薬局は開業しているのか。市が支援はできるのか。

A 東祖谷の調剤薬局は令和4年11月より薬剤師事務員の不足から休業している。現在、薬剤師事務員が西祖谷調剤薬局で研修中であり、研修終了後に東祖谷へ配置再開される。

医薬分業が推奨されたことから平成26年に市が建物を設置し、調剤薬局開設者に貸与しているが、これ以上のもものは断念した。



東祖谷診療所の薬剤師は、今は不在。

Q 交通弱者対策をどのように進めていくのか。

A 令和9年度までに新しい公共交通網での運航を検討中。

Q 昨年度の公共交通機関への財政支出額はいくらか。

A 市営バスに7050万7279円、路線バス事業者に補助金として8537万3000円、タクシー利用購入金に1727万6000円を支出している。

Q 1便当たりの利用者が極端に少ないところについては区域間運行を検討されているようだが、具体的にはどういうことか。

A 現在、中心市街地まで運行している路線以外は8時半から16時までの便を廃止して民間タクシーによるオンデマンド方式を検討している。

Q 市民の42%が交通空白地域で生活しているが、この対策はどのように進めていくのか。

A 今後乗り合いタクシーを導入することにより、令和9年度以降はそのほとんどが解消される。

Q 運転免許証所有者にも80歳を超えたらタクシー券の利用を可とすることや、医療機関利用時の補助率の引き上げ、未使用券の返納制度の導入はできないか。

A 運転免許証所有者には施策上



金村照一
(青空の会)

困難、補助率引き上げは事務手続きが煩雑になるため据え置きたい。返納は資格喪失の場合は可能である。

Q 公共交通協議会の中で交通弱者の皆さんが何を求めているのかを十分に把握して対策を進めるよう提言する。



三好市の交通拠点、阿波池田バスターミナル

Q 大規模災害の対策として、関係機関とは連携できているか。

A 近隣市町及び関係機関と連携し、防災・減災に万全を期す。

Q 生活用水確保登録員制度の内容と今後の対応について問う。

A 生活用水確保のための事業で水源地の維持管理に係る人件費の一部を補助する制度。支所で申請・手続き・登録者の紹介を行う。対象経費の2分の1、上限5000円まで補助を受けることができる。令和3年度実績は10件。今後登録員の確保・拡充に努めていく。

Q 大規模災害対策、複数の情報伝達手段の確保と関係機関の連携強化について問う。

A 6月4日未明、国道439号が山腹崩壊し、日常の情報通信が4日間不通状態となった。緊急対応として消防分団詰所3箇所、衛星携帯電話の設置等配備した。昨年度より整備中の防災行政無線システムは、令和6年9月末完成予定。今後、西部防災対策連絡会議、ライフライン部会等、関係機関と連携し進めていく。



高橋玉美
(青空の会)

Q 地域での保健師活動のあり方、健康寿命を伸ばす取り組みと支所保健師の役割について問う。

A 新型コロナウィルスワクチン接種業務が引き続き実施される。今年度においても西祖谷支所保健師が保健センター業務を行っているが、ワクチン接種の動向を見ながら今後考えていきたい。市は健康寿命延伸のために生活習慣病の重症化予防に取り組んでおり、地域に根ざした地域担当の保健師が責任を持って対応している。三好市民の健康寿命の延伸に向けて適正な保健師の配置を検討していきたい。



災害時は関係機関との情報共有が特に重要

Q 自治会長会の意見について市長の考えは。

A 資源を活用し持続可能な地域づくりに邁進する。

Q 旧町村毎に自治会長会を開催し、市長自ら出席し声を聴いているが市長の受け止めは。

A 集落支援員の配置、地域の暮らしを支援する施策として、三好市集落支援包括事業を創設し、道路の除草作業、鳥獣被害対策、生活用水確保対策など行っているが更に必要な事業や対策は全庁的な体制により効果的な事業推進に努める。

Q マイナンバーカードに関して、三好市に問題は起きてないか。

A 現在のところ問題は起きてない。
Q カードの所有者数と率は。
A 令和5年5月末現在でカードの所有者は、男性7767人、女性8654人、計1万6421人が所有。人口2万3159人に対し交付率は70・9%である。



平田政廣
(青空の会)

Q カード未申請者の内容と2024年秋から保険証廃止後の医療受診はどうなるのか。

A 令和5年5月末現在の未申請者は、男性3244人、女性3494人計6738人が未所有者で、未所有者率は29・1%である。現在の保険証は廃止され、マイナンバーカードを持たない人は、本人申請により資格確認書の交付を受け医療機関で受診していただく。資格確認書は、本人以外の代理申請や職権での交付もできると言われている。



地域の実情を聞き取り、政策に繋げる

Q 家具等固定化の実行性
ある対策を。

A 助成制度などで、早急に
支援を検討したい。

Q 最近では地震活動が活発であり、
5月だけで震度5以上が7回発生
している。家具は震度5ぐらいか
ら倒れ始めると言われているが、
実効性のある対策を緊急に行う必
要があるのでは。

A 家具固定等に特化した助成制
度など、早急に支援制度の検討を
進めたい。

Q 個別避難計画（災害時ケアプ
ラン）の作成は待ったなしの課題
だ。

A 6月8日現在、避難行動要支
援者数は2950人、うち個別避
難計画作成済みの者は434人、
全体の14・7%を占める。今後あ
らゆる施策を講じて計画策定を進
める所存だ。

Q トイレ等の設備を思うと、高
齢者・障害者等の福祉避難所への
直接避難を可とすべき。

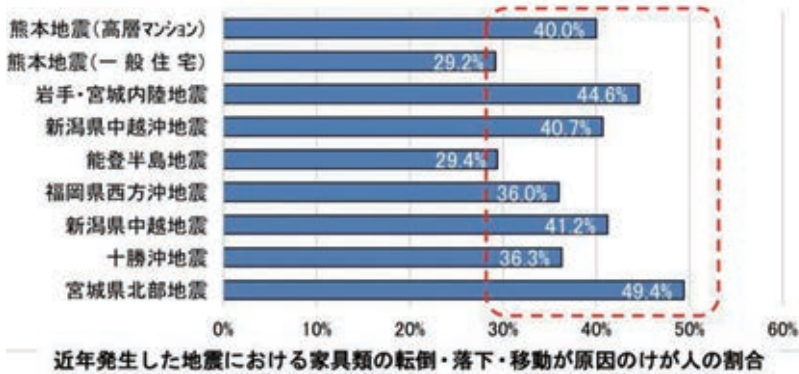
A まず一般避難所、そして福祉
避難所へと流れだが、現実の
災害時は、これが最適と言えない
場合もある。防災計画で、スフィ
アスタンダード（被災者支援にお
ける最低基準）の理念も掲げられ
ており、いずれの避難所も最低限
の避難環境を整うべきだ。



天羽 強
(青空の会)

Q 個人情報保護法で、保有個人
情報に係る安全管理措置が義務化
された。

A 国のガイドライン等に基づき、
市個人情報取扱管理規程を制定、
保有個人情報の適切な管理を行っ
ている。



各種表彰

全国市議会議長会第99回定期総会及び第85回四国市議会
議長会定期総会にて、次の議員が栄誉ある表彰を受けました。

全国市議会議長会

【感謝状】

(産業経済委員会委員として、
職責を担った者)

西内 浩真 議長

【特別表彰】

(20年以上議員の職にある者等)

並岡 和久 議員
三木 和弘 議員

四国市議会議長会

【特別表彰】

(20年以上議員の職にある者等)

並岡 和久 議員
三木 和弘 議員

(16年以上議員の職にある者等)

伊丹 征治 議員



3つの各常任委員会では付託された各所掌の議案について審査されました。主な質疑について、委員長報告より抜粋します。

文教厚生常任委員会



委員長 三木 和弘

議案第45号
令和5年度三好市一般会計補正
予算(第2号)

Q 三好市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定事業の詳しい説明を求める。

A 政府が地球温暖化対策計画を立てており、それに即し、三好市の自然的社会的条件に即して、温室効果ガスの排出量削減を推進していくための総合的な計画を立てていく。その計画期間の中で温室効果ガス削減の目標を達成するために必要な措置を定めるもので、中身については、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの推進、公共交通機関の利便の増進、緑化促進、廃棄物等の発生抑制等循環型社会の形成などである。



地球温暖化対策として再生可能エネルギーの導入が必要であるが、三好市は地理的落差を利用した小水力発電のポテンシャルが高い。

Q 再生可能エネルギーでどういったものを入れていくのか、現状で分かることがあれば示していただきたい。

A 地域によってそれぞれ持っているポテンシャルがあるが、三好市の場合、地理的に落差を利用した小水力発電のポテンシャルが高いことが国から示されており、太陽光発電と小水力発電などを検討していきたい。

産業建設常任委員会



委員長 中 耕司

議案第43号
三好市井川森林総合利用施設条例の一部を改正する条例について

Q 議案質疑において、道路敷きを駐車場としているとの指摘があったが事実なのか確認したい。

A 確認したところ、駐車場は道路敷きではなかった。

Q 料金について、改正案は上限額を定めたものか。

A 条例で定める額はあくまで上限額であり、大型自動車の駐車場料金については、現行の700円を1000円程度にすることを想定している。値上げ幅については、むやみに値上げすることなく、値上げ幅を抑えられるよう努力しながら今後協議を進めていく。



三好市井川森林総合利用施設は、冬季になると多くのスキー愛好家たちで賑わう。

Q ため池を浚渫する目的は何か。

A ため池の堤内に溜まった土砂を除去することで、ため池の貯水量を維持し、下流の農地や宅地への被害を防ぐことを目的としている。溜まった土砂により、堤体の一部が破壊されて、強度が下がるといったことがないように、事業を推進する。

議案第45号
令和5年度三好市一般会計補正
予算(第2号)

総務企画常任委員会



委員長 田村 俊哉

議案第45号
令和5年度三好市一般会計補正
予算(第2号)

Q 三好市地域利便性施設(仮称)の駐車場スペースは何台分を計画しているか。

A 駐車場は障がい者専用スペース1台分を合わせて29台分。障がい者用のスペースは、国土交通省が示す基準では1台となっているが、障がい者や高齢者、妊婦の方が移動が困難な方に対しバリアフリー化を図り、より利用しやすい施設となるよう、今回、障がい者用の駐車スペースを2台増やし、合計31台の駐車スペースで計画している。



三好市地域利便性施設(仮称)の駐車場は、皆が利用しやすい台数と用途を計画中。

Q コミュニティ助成事業の選考基準と応募状況、申請事業の種類はどのようなものがあるか。

A 助成の決定については、自治総合センターが内容を確認して決定している。令和5年度の申請件数は4件。申請事業の種類は、一般コミュニティ助成事業、コミュニティセンター助成事業、青少年健全育成助成事業、地域防災組織育成助成事業の4事業がある。

議案第43号
三好市井川森林総合利用施設条例の一部を改正する条例について

反対討論の後、起立採決により可決した。

● 審査結果 (6月27日)

1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
大西耕司	田埜泰弘	金村照一	徳川一広	村中将治	田村俊哉	高橋玉美	大柿兼司	西内浩真	美浪盛晴	古井孝司	中耕司	並岡和久	天羽強	平田政廣	木下善之	大浦忠司	三木和弘	伊丹征治			
賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	—	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	—			
																		賛成多数	賛成16	反対1	可決

10番、議長は採決に加わっておりません。

特別委員会

第2回船井電機跡地利用調査特別委員会

委員会設置後、第2回目会議を開催しました。執行部から船井電機跡地利用の現状報告や今後の予定について説明がありました。

委員からは、施設内容や財源についての質問のほか、地域住民のニーズ調査を踏まえた提言などを行いました。



人事案件

○三好市教育委員会委員の任命に教育委員会委員の任命に同意しました。

向井 ひろみ (新任)

議会のうごき(令和5年5月～8月)

5月22日(月)	議会運営委員会
6月1日(木)	開会・議案説明
6月12日(月)	一般質問
6月16日(金)	一般質問・議案質疑・委員会付託・議会運営委員会
6月20日(火)	文教厚生常任委員会
6月21日(水)	産業建設常任委員会
6月22日(木)	総務企画常任委員会
6月27日(火)	委員長報告、質疑、討論、採決、散会

次回定例会の予定【令和5年9月定例会】

※日程はあくまで予定となります。8月24日予定の議会運営委員会で正式に決定されます。

9月4日(月)	開会・議案説明
9月11日(月)	決算審査
9月12日(火)	一般質問
9月13日(水)	一般質問
9月14日(木)	一般質問・議案質疑・委員会付託
9月15日(金)	文教厚生常任委員会
9月19日(火)	産業建設常任委員会
9月20日(水)	総務企画常任委員会
9月21日(木)	(委員会予備日)
9月25日(月)	委員長報告、質疑、討論、採決、散会

表紙の説明

今月号から、広報編集委員が地域の写真を撮影して表紙に使用することにしました。
表紙の天神山(天満神社)で奉納されている神代踊りは、令和4年11月にユネスコの無形文化遺産に登録されました。
以下、西祖谷山村史より引用

「文政11年、第14代阿波藩主 須賀齊昌が西祖谷山村の善徳の蔓橋見物のため、20有余名の家臣を率いて入山された際、政所の喜多源内の庭園内で、屈強の男子と眉目美しい女子合わせて50人が円陣を作って姿やさしく足どり軽く、とうとうたる太鼓・こだまに響く鐘の音につれて差す手引く手も鮮やかに、へんぼんとしてひるがえる扇をかざしながら、悠に優しく流れる歌声のリズムに合わせてこの神代踊りを舞い踊ったことが伝えられている。」

また、大正11年11月、昭和天皇が皇太子殿下の折りに三好市池田町の諏訪公園において、笠踊りを台覧に供した時から「神代踊り」と呼ばれるようになった。と言われている。

天満神社は菅原道真を祭祀している。西祖谷山村に伝わっている「神代踊り」は菅原公の雨乞いの歌と踊りに因縁があるものと信ずるのである。」

編集後記

令和2年11月の初頭、中国武漢で新型コロナウイルス感染症が流行し、政府は5月20日に緊急事態宣言を出し、全国で自粛要請を行いました。この間、市民生活は大きな影響を受けました。しかし、市民生活は徐々に回復し、経済活動も再開されました。この間、市民生活は大きな影響を受けました。しかし、市民生活は徐々に回復し、経済活動も再開されました。

三好市議会広報編集委員会

委員長	金村 照一
副委員長	高橋 玉美
委員	大西 耕司
委員	田井 泰弘
委員	古井 孝司
委員	伊丹 征治

古井 孝司